

第1学年の課題について（4月30日発行版）

入学式から一か月がたとうとしています。なかなか、お会いできない状況ですが、皆さまお元気で過ごされていますか。その後の課題への取り組み具合はいかがでしょう。意欲的に楽しんで取り組めていたら良いなと思います。でも、少し、今の状況が長引いてしまい、飽きてしまったお子さんもいらっしゃるかもしれませんね。学校へ楽しく通う準備を進めるために、もうしばらくの間、自宅学習に取り組むためのご協力をお願いいたします。先日の課題に加えて、少しだけ、段階を上げたものを用意いたしました。あせらず取り組むことがコツです。「じっくり、ゆっくりそして確実に」をお願いいたします。

【学習面】

（国語）

1. 音読の練習

もうすでに取り組んでいらっしゃる方もいるのではないかと思います。声に出して読む練習をしましょう。教科書のp14・p15の「えんぴつとなかよし」はもう覚えてしまったのではないのでしょうか。一人でも読めるようにもう一度、復習をしておいてください。

5月までに学習する予定の教科書の範囲をお伝えいたします。保護者の方が先に読んで聞かせ、後に続くように音読の練習をお願いいたします。

① うたに あわせて あいうえお（4月の教材）※毎日のウォーミングアップに

このページはとても大切な学習になります。1年生のこの時期に口の形をしっかりと作る練習をすることは、この後の「話すこと・聞くこと」の学習にもつながっていきます。そして「言葉を獲得するための大事な要素」にもなります。まずは、背筋を良く伸ばして大きく息を吸って、口を正しく開ける練習に取り組んで下さい。姿勢と呼吸も大事です。毎日、「あいうえお」の母音の練習から始めて、教科書p129の表を見ながら、「か行」以降の練習に取り組んでください。五十音が口の形を保って言えるようになってきたら、裏面の、「が・ぎ・ぐ」のような濁音や「きゃ・きゅ・きょ」などの拗音にも取り組んでください。その際に姿勢と口の形に気をつけて力を抜いてゆっくり、はっきりと発音させるようお願いいたします。これは、ウォーミングアップとして、毎日少しずつ続けていきましょう。

② あさのおひさま（5月初めの教材）

口をしっかりと開ける練習ができれば、「あさのおひさま」の音読に取り組みましょう。このポイントは「語のまとまり」や言葉の響きに気をつけて音読することです。まず、「ゆっくり、はっきり読む」ことから始めて、少しずつ、リズムを付けて読んだり、保護者の方や兄弟姉妹にお手伝いいただいて、掛け合いで読んだりすると楽しくなります。また、「のっこり」「ざぶんと」など独特な表現があります。これはどんな感じがするのか尋ねたりして言葉の使い方に着目しながら、言語の感覚を耕してください。「おきだした」「あかいかお」のように擬人化（人のように例えている）言葉などがあります。他にはどんな言葉があてはまるのか、考える時間を取って、イメージを膨らませながら音読させてください。

③はなのみち（5月初めの教材）

このお話は、「登場人物がだれで、何をしたのか」など、お話の大体の内容を捉えることが目標です。場面ごとにどの登場人物が出てきたのか、何をしたのかをお話ししながら楽しく読んでください。このお話は季節が明記されていません。「季節はいつかな？」と聞いたりして、冬から春にかけてくまさんの行動がもたらした変化に気付かせてあげてください。読むことを通して、「季節が変わると変化が起こり、見えてくる景色や感じられる気持ちや体感など身の回りの世界が変わるのだ」ということに気付けることが大切です。生活科の学習にもつながっていきます。初めはお家の方に続いて音読させてください。

（例）p34の2つ目の場面を読み取るとき 「誰が出てきたかな？」「どうしたのかな？」挿絵を見て「何が見えるかな？」など話しかけながら音読してください。挿絵から季節や状況を想像させてください。

（何もない池・葉のない木々・枯れた野原・くまさんの歩いた道・小さくなった袋など）まずは、子供に何が見えるかなと問いかけ、気付きを引き出してください。お家の方が考えたものが全部出なくても、ゆっくり音読をしながら、全部の挿絵を比べて見せたりして一つ一つ気付きを導き出してください。日を追うごとに気付いても良いのです。子供が何を見て何に気付いたかを引き出すことが大事な学習になります。気付きがあったら、「なんで（何を見て）そう思ったの？」「なんで（何を見て）そう考えたの？」など自分が考えたことを言葉で表現できるようにして意識付けをしてあげてください。

④かきとかぎ

この教材は唱え歌になっています。濁音を学習するためのものです。リズムがよいので、教室でやる場合は、一人ずつ交代で唱え方を工夫して読ませるなどします。

（例） さるのだいじな→→お家の方
かぎのたば→→→→子供

このように文を覚えて慣れてきたら、交代で歌のようにリズムよく一緒に唱えるような工夫ができると良いですね。また、「かぎのたば」など、文のなかで、なじみのない言葉も出てきます。絵を見せながら言葉を解釈できるようにしてください。

⑤ぶんをつくろう

「～がどうする。」の文型の学習です。主語と述語の使い方を覚える練習ですので、主語と述語を変えながら言い換えて、文を作る練習をしてみてください。あとで、書くことにつなげていきます。

⑥ねことねっこ

促音（詰まった言葉）を学習するための唱え歌です。音と表記が結びつくように指で言葉を押さえながら読むと理解できると思います。二つの違いは何か、音と表記で捉えさせてください。用紙に「はらば」と「はらっぱ」と書いて違いに気付かせ、クイズ形式にしても楽しいかと思います。他にも詰まる言葉の例を考えて、小さい「っ」を抜いた言葉と入れた言葉を並べて読み方の違いに気付かせてください。

（例）「かけこ」「かけっこ」「きと」「きっと」「らば」「らっぱ」など両方の表記と音を聞かせて、正しいのはどっち？とクイズをだしても楽しく取り組みます。

2. ひらがなと数字の練習

音読に取り組みつつ、文字の練習にも取り組みましょう。まずは、指で文字をなぞることを何回もやって文字の形と筆順（ひつじゅん）を覚えさせてください。大切なポイントとして、一画一画の長さや形に注意して書けるようになることです。教室でやるときは、ホワイトボードに4つのお部屋を用意します。そしてお手本を見て、どこからどこまで線をひくのかよく見て書く習慣を身に付けさせます。詳しくは教科書の巻末にある「ひらがな一覧表」をご覧ください。お手本をよく見て書けるようにしてください。指で一覧表を何度もなぞったり、空中に指で書くことを何度もやって体で形を覚えるように練習しましょう。これは、漢字の練習になっても同じです。空書きで形が整わない場合、やはり鉛筆を持って書いても正確に書けないことが多く見られます。まずは、身体全体を使って覚える練習に取り組みましょう。

○取り組みの順番

「い」「ち」「ね」「ん」・・・どうぞよろしく p 16～p 17
「あ」「う」「え」「お」・・・うたにあわせてあいうえお p 22～p 25
「り」「し」「か」「さ」「つ」・・・たのしいな、ことばあそび p 30～p 31
「る」「き」「こ」「ま」「ふ」「た」・・・かきとかぎ p 42～p 43
「わ」「は」「な」「す」「み」「ら」・・・ぶんをつくろう p 44～p 45
「て」「ひ」「へ」「ほ」「む」・・・ねことねっこ p 46～p 47
「に」「ゆ」「や」「け」「ろ」「そ」
「く」「も」「と」「を」「よ」・・・おばさんとおばあさん p 50～p 51
「め」「せ」「ぬ」「の」「れ」・・・あいうえおであそぼう p 62～p 65

教科書の順番に練習に取り組みましょう。音読を始めたところは、教科書の一覧表を見て指でなぞったり、空書きをしたりして、音と文字を確認しながら進めてください。

また、練習しているときに言葉集めをしてください。教科書 p 30の「たのしいな、ことばあそび」を参考にたくさん思い出せるようにしてください。

3. 引き続きの練習（状況に応じて練習してください）

①「おはようございます」「さようなら」「よろしくおねがいたします」「いただきます」

「ごちそうさま」「しつれいします」などのご挨拶の言葉の練習をお願いします。

教科書の p 18・p 19の「なんていおうかな？」の絵を見て一緒にご挨拶の練習をしてください。口を開けてはっきりと言えるようにお願いします。大きな声で言う必要はありません。

②姿勢の練習

書写の教科書 p 2を見て「しょしゃたいそう」を一緒にお願ひします。QRコードを読み取って携帯で動画を見ることもできます。

また p 4・p 5の「じをかしくせい」を見て座る練習をお願いします。足をつけて、自分の体を支えて座ることが、充実した学習の第一歩です。

③鉛筆の持ち方の練習

書写の教科書p6「えんぴつのもちかた」国語の教科書p14・p15の「えんぴつとなかよし」を見て鉛筆の持ち方の練習をお願いします。書いてある言葉を一緒に読んで、覚えるくらいまで何回も練習してください。特に鉛筆で書く練習をする必要はありません。

④自分のクラスと名前を言う練習

「1年～組 名前～です。」をはっきりと言えるように練習をお願いします。

(算数)

1. 数えたり仲間探しをしたりする練習

①教科書p8～p9の1～5までの数字を指でなぞった、空に書いたりする練習

指で筆順をなぞって練習に取り組みましょう。空書きも取り組んでください。

同時に絵を指で押さえて、「いち」「に」と声に出して数えてください。

②教科書p10～p11の絵を見て指で押さえて数える練習

初めは、目で見えていくつか答えさせ、次に本当に合っているか指でなぞって数えます。声に出しながら指でなぞって確認してください。必ず、目と手と声で確認することを大事に取り組んでください。後々の学習の習慣になります。

(例)

○質問「3つあるものはどれ？」→ 見て名前を答える→ 指で押さえ、声に出して数える

○質問「～はいくつ？」 →→→ 見て数を答える→→ 指で押さえ、声に出して数える

※課題はすべてに完璧に取り組もうと思わずに、楽しんで取り組むことを目標にしてください。

※生活記録表の「しるし」のところは、今日の一日はどうだったか振り返ってお子さんに自己評価させてください。自分で※（はなまる）か○を書かせてください。

ご家庭からの欄は、その日のできごとやお子さんの様子など、自由にお書きください。

